بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 25 巻

オスマン・ガーズィー

オスマン朝の創始者 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

ٱلَّذِينَ إِن مَّكَّنَّٰهُمْ فِى ٱلْأَرْضِ أَقَامُوا۟ ٱلصَّلَوٰةَ وَءَاتَوُا۟ ٱلزَّكَوٰةَ وَأَمَرُوا۟ بِٱلْمَعْرُوفِ وَنَهَوْا۟ عَنِ ٱلْمُنكَرِ ۗ وَلِلَّهِ عَٰقِبَةُ ٱلْأُمُورِ ﴿٤١﴾

「（かれに協力する者とは）もしわれの取り計いで地上に（支配権を）確立すると礼拝の務めを守り，定めの喜捨をなし，（人びとに）正義を命じ，邪悪を禁ずる者である。本当に凡ての事の結末は，アッラーに属する。」

巡礼章 22:41

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

信仰して善行に励む者たちに、地上で確固たる地位を与えると約束されたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善をもってその道に従った人々、とりわけオスマン朝の創始者オスマン・ガーズィーに祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 25 巻は、父エルトゥールルの物語とともに、オスマン・ガーズィーの生涯を語ります。ソユトの小さな部族の長でありながら、バフェウスでビザンツ軍を破り、ブルサを包囲し、6 世紀以上続く国の礎を築いた人物です。歴史とテレビドラマの違いも含め、その物語は典拠について正直に語られています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは朝のアナトリア北西部、ソユト近くの松林に囲まれた***ビテュニアの緑の丘***で、手前には赤いケシの花、そして金色の日の出の光が見えます。

丘の斜面には***トルコ系遊牧部族の宿営地（オバ）***があります——ヤギの毛で作った黒っぽい天幕と、いくつかの***白いフェルトの丸い天幕***、中央にはひときわ大きい族長の天幕、たき火、銅の大鍋、織物の絨毯、鞍や弓——エルトゥールルとオスマンの部族の暮らしを思い起こさせます。

丘の上には***大きな古いプラタナス（チナール）の木***がそびえ、その陰が世界を覆う木についての***オスマンの夢***の物語を思い起こさせます。遠くの青いもやの中には、岩山の上に***ビザンツの城塞***が立ち、谷には川が流れています。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 24 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

オスマン・ガーズィー 5
1. オスマン・ガーズィーとは誰か 6
2. エルトゥールル――歴史とドラマのあいだ 7
3. 二つの世界の境にあるアナトリア 9
4. シャイフ・エデバリの家での夢 11
5. シャイフ・エデバリとアヒー 13
6. ビレジク、ヤルヒサル、イネギョル 14
7. 叔父の血――デュンダル・ベイ 15
8. バフェウスの戦い 17
9. キリスト教徒の臣民への公正 18
10. 国を築く 21
11. ブルサの包囲 22
12. オルハンへの遺言 23
13. 死とブルサの征服 25
14. オスマンの遺産 26
15. テレビドラマと歴史 28
16. 検討すべき物語と数字 29
17. オスマンの物語の典拠 30
18. 人物・場所・年表 32
19. オスマン・ガーズィーについてのよくある質問 34
20. 教訓と結び 36
参考文献 37
支援と寄付 38

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

オスマン・ガーズィー

ヒジュラ暦7世紀の終わり、アナトリアは分裂していました。ルーム・セルジューク朝はモンゴルの圧力のもとで崩壊し、ビザンツ帝国と向き合う西の辺境には、いくつかの小さなトルコ系君侯国（ベイリク）が現れました。その最も小さなものの一つが***ソユト***という町を中心とし、エルトゥールルの息子***オスマン***に率いられていました。

およそ 30 年のうちに、オスマン・ガーズィーはその小さな君侯国を、バフェウスでビザンツ軍を破り、ブルサの町を包囲する勢力へと変えました。彼が築いた国――***オスマン朝***――は 6 世紀以上続き、コンスタンティノープルを征服し、ヒジュラ暦 1342 年（西暦 1924 年）までイスラームのカリフ制の中心となりました。

この電子書籍は、父エルトゥールルの物語とともに『***イスラームの英雄***』シリーズの第 25 巻です。オスマンの物語は主に、彼の時代から 1 世紀以上後に書かれたアーシュクパシャザーデやネシュリーの著作などのオスマン年代記と、同時代のビザンツの歴史家ゲオルギオス・パキメレスの記録に由来します。すべての物語の典拠と等級を――エルトゥールルとオスマンについての歴史とテレビドラマの違いや、叔父の殺害のような快くない事柄も含めて――正直に示し、その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

オスマンの物語は、偉大な帝国が、信仰と忍耐と公正によって辺境の小さな町からどのように始まったかの物語です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

オスマン・ガーズィーとは誰か

彼は歴史上***オスマン・ガーズィー***または***オスマン・ベイ***として知られる、オスマン朝の創始者***エルトゥールルの子オスマン***です。オスマンの伝承によれば、ヒジュラ暦 656 年（西暦 1258 年）ごろ――バグダードがモンゴルに破壊された年――に生まれ、ヒジュラ暦 724 年（西暦 1324 年）ごろに亡くなりました。

「オスマン朝」（トルコ語でオスマンル、英語でオットマン）の名は、アラビア語の名前ウスマーンのトルコ語読みである彼の名オスマンに由来します。同時代のビザンツの歴史家パキメレスは彼を「アトマン」と呼んでいます。

名前と称号

名前・称号	説明
オスマン	ウスマーンのトルコ語読み
ガーズィー	アッラーの道の「戦士」。辺境の指導者の称号
ベイ	部族の長や地方の君主の称号
ファフルッディーン	一部の史料や貨幣に見られる称号
カラ・オスマン	伝承における「勇者オスマン」というあだ名
アトマン	ビザンツの歴史家パキメレスによる呼び名

教訓

偉大なことは、しばしば小さく始まります。アッラーは、たとえ小さな町で始まったとしても、誠実な努力を祝福されます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

エルトゥールル——歴史とドラマのあいだ

歴史の注：エルトゥールルについてわかっていること

オスマンの父***エルトゥールル***についてわかっていることのほとんどは、彼の時代から150年以上後に書かれたオスマン年代記に由来します。伝承によれば、彼はビザンツとの境にあるソユトに定住した小さなトルコ系部族の長で、ヒジュラ暦680年（西暦1281年）ごろに亡くなりました。その墓は今もソユトで参詣されています。

その実在を示すより確かな証拠は、オスマンが鋳造したとされ、「エルトゥールルの子オスマン」と刻まれた***一枚の貨幣***です。そのほかの話——父がユーフラテス川で溺れたスレイマン・シャーであったこと、ある戦いでセルジューク軍を助けてソユトを与えられたこと、その部族がオグズのカユ族であったこと——は後代の伝承であり、その一部は歴史家のあいだで議論されています。エルトゥールルについてのテレビドラマは、その大部分が創作です。

伝承の等級：エルトゥールルの実在は確かですが、その生涯の細部の多くは後代の伝承です。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』；現代の歴史研究。

アッラーの御許での尺度は血筋ではなく、行いです。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第2699番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ يَحْيَى التَّمِيمِيُّ، وَأَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ وَمُحَمَّدُ بْنُ الْعَلاَءِ الْهَمْدَانِيُّ - وَاللَّفْظُ لِيَحْيَى - قَالَ يَحْيَى أَخْبَرَنَا وَقَالَ الآخَرَانِ، حَدَّثَنَا أَبُو مُعَاوِيَةَ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ أَبِي صَالِحٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " مَنْ نَفَّسَ عَنْ مُؤْمِنٍ كُرْبَةً مِنْ كُرَبِ الدُّنْيَا نَفَّسَ اللَّهُ عَنْهُ كُرْبَةً مِنْ كُرَبِ يَوْمِ الْقِيَامَةِ وَمَنْ يَسَّرَ عَلَى مُعْسِرٍ يَسَّرَ اللَّهُ عَلَيْهِ فِي الدُّنْيَا وَالآخِرَةِ وَمَنْ سَتَرَ مُسْلِمًا سَتَرَهُ اللَّهُ فِي الدُّنْيَا وَالآخِرَةِ وَاللَّهُ فِي عَوْنِ الْعَبْدِ مَا كَانَ الْعَبْدُ فِي عَوْنِ أَخِيهِ وَمَنْ سَلَكَ طَرِيقًا يَلْتَمِسُ فِيهِ عِلْمًا سَهَّلَ اللَّهُ لَهُ بِهِ

طَرِيقًا إِلَى الْجَنَّةِ وَمَا اجْتَمَعَ قَوْمٌ فِي بَيْتٍ مِنْ بُيُوتِ اللَّهِ يَتْلُونَ كِتَابَ اللَّهِ وَيَتَدَارَسُونَهُ بَيْنَهُمْ إِلاَّ نَزَلَتْ عَلَيْهِمُ السَّكِينَةُ وَغَشِيَتْهُمُ الرَّحْمَةُ وَحَفَّتْهُمُ الْمَلاَئِكَةُ وَذَكَرَهُمُ اللَّهُ فِيمَنْ عِنْدَهُ وَمَنْ بَطَّأَ بِهِ عَمَلُهُ لَمْ يُسْرِعْ بِهِ نَسَبُهُ " .

訳：

アブー・フライラによると、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。「信者の現世の苦しみの一つを取り除く者には、アッラーが審判の日の苦しみの一つを取り除かれる。困窮している者を楽にする者には、アッラーが現世と来世で楽にしてくださる。ムスリムの欠点を覆い隠す者には、アッラーが現世と来世でその欠点を覆い隠してくださる。しもべがその兄弟を助けている限り、アッラーはそのしもべを助けられる。知識を求めて道を進む者には、アッラーが楽園への道を容易にしてくださる。人々がアッラーの家の一つに集まり、アッラーの啓典を読み、互いに学び合うならば、必ず彼らの上に安らぎが下り、慈悲が彼らを包み、天使たちが彼らを取り囲み、アッラーはご自身のもとにいる者たちのあいだで彼らのことを語られる。***行いによって遅れた者を、血筋が早めることはない。***」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・ヤフヤー・アッ＝タミーミー、アブー・バクル・ブン・アビー・シャイバ、ムハンマド・ブン・アル＝アラー ← アブー・ムアーウィヤ ← スライマーン・アル＝アアマシュ ← アブー・サーリフ・アッ＝サンマーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』唱念と祈願の書、第 2699 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:2699a

教訓

歴史をドラマと区別することで、私たちは歴史を尊重します。人の尊さは、誇る血筋ではなく、その行いにあるのです。

二つの世界の境にあるアナトリア

歴史の注：ルーム・セルジューク朝の崩壊

ヒジュラ暦 641 年（西暦 1243 年）、モンゴルがキョセ・ダーでルーム・セルジューク朝を破った後、この国は弱まり、ついに崩壊しました。アナトリアは多くのトルコ系ベイリクに分かれ、***ウチ***（辺境）と呼ばれる西の境の地域には、トルコ系の部族、修道者（デルヴィーシュ）、そして***ガーズィー***と呼ばれる戦士たちが住みつきました。

境の向こうには、第 4 回十字軍以来弱体化していたビザンツ帝国のビテュニア地方がありました。オスマンが戦いを始めたのは、まさにここ、ソユト、ビレジク、ブルサのあいだでした。

伝承の等級： オスマンの時代から約 150 年後に書かれた、アーシュクパシャザーデの歴史書やネシュリーの『世界の鏡』などの初期オスマン年代記に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史または伝承として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

ゲオルギオス・パキメレス『歴史』（同時代のビザンツ史料）；アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；現代の歴史研究。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「ガーズィー」という称号はジハードを思い起こさせます。しかし、誰が本当にアッラーの道で奮闘しているかを知っておられるのはアッラーだけです。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2787 番

حَدَّثَنَا أَبُو الْيَمَانِ، أَخْبَرَنَا شُعَيْبٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ أَخْبَرَنِي سَعِيدُ بْنُ الْمُسَيَّبِ، أَنَّ أَبَا هُرَيْرَةَ، قَالَ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " مَثَلُ الْمُجَاهِدِ فِي سَبِيلِ اللَّهِ ـ وَاللَّهُ أَعْلَمُ بِمَنْ يُجَاهِدُ فِي سَبِيلِهِ ـ كَمَثَلِ الصَّائِمِ الْقَائِمِ، وَتَوَكَّلَ اللَّهُ لِلْمُجَاهِدِ فِي سَبِيلِهِ بِأَنْ يَتَوَفَّاهُ أَنْ يُدْخِلَهُ الْجَنَّةَ، أَوْ يَرْجِعَهُ سَالِمًا مَعَ أَجْرٍ أَوْ غَنِيمَةٍ ".

訳：

アブー・フライラは言いました。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。

「アッラーの道において奮闘する者――アッラーは、その道において誰が奮闘しているかを最もよくご存じである――のたとえは、（絶え間なく）断食し、夜に礼拝に立つ者のようである。アッラーは、その道において奮闘する者に対し、その命を召されるなら楽園に入れ、あるいは報奨か戦利品とともに無事に帰らせることを保証されている。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アル＝ヤマーン・アル＝ハカム・ブン・ナーフィウ ← シュアイブ・ブン・アビー・ハムザ ← イブン・シハーブ・アッ＝ズフリー ← サイード・ブン・アル＝ムサイヤブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 2787 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：*sunnah.com/bukhari:2787

教訓

称号は誠実さを保証しません。すべての戦士の意図を知っておられるのはアッラーであり、私たちはその判断をアッラーに委ねます。

シャイフ・エデバリの家での夢

歴史の注：月と木

オスマンについて最も有名な話は、ビレジクの学者で精神的指導者だった***シャイフ・エデバリ***の家に泊まったときに見た夢です。アーシュクパシャザーデによれば、オスマンは、シャイフ・エデバリの胸から月が昇って自分の胸に入り、それから自分のへそから大きな木が生え、その陰が山々や川や町々を下にして全世界を覆う夢を見ました。

シャイフ・エデバリはその夢を、アッラーがオスマンとその子孫に王権を与えられるという吉報と解き、娘をオスマンに嫁がせました。この話は有名で美しいものですが、オスマンの時代から 1 世紀以上後になって初めて記録されたもので、歴史家はこれを、のちのオスマン朝の偉大さを映した伝説とみなしています。

伝承の等級：オスマン年代記の有名な伝説であり、歴史的な出来事としては確かではありません。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』。

良い夢はアッラーからの吉報ですが、シャリーアの典拠でも歴史の証拠でもありません。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 6985 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، حَدَّثَنِي ابْنُ الْهَادِ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ خَبَّابٍ، عَنْ أَبِي سَعِيدٍ الْخُدْرِيِّ، أَنَّهُ سَمِعَ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِذَا رَأَى أَحَدُكُمْ رُؤْيَا يُحِبُّهَا فَإِنَّمَا هِيَ مِنَ اللَّهِ، فَلْيَحْمَدِ اللَّهَ عَلَيْهَا، وَلْيُحَدِّثْ بِهَا، وَإِذَا رَأَى غَيْرَ ذَلِكَ مِمَّا يَكْرَهُ، فَإِنَّمَا هِيَ مِنَ الشَّيْطَانِ، فَلْيَسْتَعِذْ مِنْ شَرِّهَا، وَلاَ يَذْكُرْهَا لأَحَدٍ، فَإِنَّهَا لاَ تَضُرُّهُ ".

訳：

アブー・サイード・アル＝フドリーは、預言者 ﷺ がこう言われるのを聞いたと伝えました。***「あなたがたのうちの誰かが好ましい夢を見たなら、それはアッラーからのものである。アッラーを讃え、それを語りなさい。***また、それ以外の嫌な夢を見たなら、それは悪魔からのものである。その害からアッラーに守りを求め、誰にも語ってはならない。そうすればそれは彼を害することはない。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ・アッ＝ティンニースィー ← アル＝ライス・ブン・サアド ← ヤズィード・ブン・アブドゥッラー・ブン・アル＝ハード ← アブドゥッラー・ブン・ハッバーブ ← アブー・サイード・アル＝フドリー رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』夢解きの書、第 6985 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：*sunnah.com/bukhari:6985

教訓

美しい話から励ましを得ることはできますが、信条や歴史を夢の上に築くことはしません。

シャイフ・エデバリとアヒー

歴史の注：君主のそばの学者

シャイフ・エデバリは、ビレジクで尊敬された法学者でありスーフィーで、*アヒー*——善い人柄、気前のよさ、助け合いを重んじた、アナトリアの町々のムスリムの職人と商人の兄弟団——と深いつながりがあったといわれます。オスマンの時代の数年後にアナトリアを旅したイブン・バットゥータは、旅人へのもてなしのゆえにアヒーを称賛しています。

伝承によれば、オスマンはしばしばエデバリを訪ね、その助言に耳を傾けました。その妻マルフン・ハトゥンあるいはラビア・バラ・ハトゥン——妻たちの名や出自について史料は一致していません——は、彼の子どもたちの何人かの母でした。息子の*オルハン*が、のちに彼の後を継ぎました。

伝承の等級： オスマンの時代から約 150 年後に書かれた、アーシュクパシャザーデの歴史書やネシュリーの『世界の鏡』などの初期オスマン年代記に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史または伝承として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』；イブン・バットゥータ『大旅行記』。

教訓

堅固な国には、誠実な学者と善い人柄の社会が必要です。その礎は剣だけではなく、知識と兄弟愛なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ビレジク、ヤルヒサル、イネギョル

歴史の注：ヒジュラ暦 699 年ごろ

オスマン年代記によれば、オスマンはソユト周辺のいくつかの小さなビザンツの城塞を手に入れました。その中には*カラジャヒサル*、*ビレジク*、*ヤルヒサル*、*イネギョル*があります。オスマンの伝承はのちにヒジュラ暦 699 年（西暦 1299 年）を建国の年としましたが、この年はかなり象徴的なものです。

年代記はまた、オスマンがビレジクの城主が婚礼の宴を開いているあいだに策略でビレジクを取ったこと、そして花嫁のホロフィラがのちにオルハンと結婚して*ニルフェル・ハトゥン*として知られるようになったことを語っています。この話は有名ですが、その細部は伝説と混ざり合っています。

伝承の等級： オスマンの時代から約 150 年後に書かれた、アーシュクパシャザーデの歴史書やネシュリーの『世界の鏡』などの初期オスマン年代記に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史または伝承として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』。

教訓

小さく着実な歩みが大きな力を築きます。オスマンは大きな町を一度に取ったのではなく、小さな城塞から始めたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

叔父の血——デュンダル・ベイ

歴史の注：家族の中の争い

アーシュクパシャザーデとネシュリーは、オスマンの叔父***デュンダル・ベイ***が、近隣の怒りを買うことを恐れて、ビザンツのある城塞を攻める計画に反対したと伝えています。オスマンは怒り、その伝えによれば、叔父を矢で射殺しました。

この話はここに正直に記します。オスマン自身を称える年代記に記されているため本当だと考える歴史家もいれば、疑う歴史家もいます。本当であれ、そうでなかれ、権力への道がしばしば身内の流血で汚されることを思い起こさせます。

伝承の等級：初期の年代記に伝えられていますが、その真偽は議論されています。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』。

アッラーの使徒ﷺは、ムスリムと戦うことについて厳しく戒められました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 48 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَرْعَرَةَ، قَالَ حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ زُبَيْدٍ، قَالَ سَأَلْتُ أَبَا وَائِلٍ عَنِ الْمُرْجِئَةِ، فَقَالَ حَدَّثَنِي عَبْدُ اللَّهِ، أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " سِبَابُ الْمُسْلِمِ فُسُوقٌ، وَقِتَالُهُ كُفْرٌ ".

訳：

ズバイドは言いました。私はアブー・ワーイルにムルジア派について尋ねた。すると彼は言った。アブドゥッラー（・ブン・マスウード）が私に、預言者ﷺがこう言われたと語った。*「ムスリムをののしることは罪深い行いであり、彼と戦うことは不信仰である。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アルアラ ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージュ ← ズバイド・ブン・アル＝ハーリス・アル＝ヤーミー ← アブー・ワーイル・シャキーク・ブン・サラマ ← アブドゥッラー・ブン・マスウード رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』信仰の書、第 48 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:48

教訓

家族や共同体の中の意見の違いは、武器ではなく協議（シューラー）によって解決しなければなりません。ムスリムの血はアッラーの御許でとても尊いのです。

バフェウスの戦い

歴史の注：ヒジュラ暦 701 年（1302 年 7 月 27 日）

年代を確実に定めることのできるオスマンの最初の勝利は、ニコメディア（イズミト）近くでのヒジュラ暦 701 年（西暦 1302 年 7 月 27 日）の***バフェウス（コユンヒサル）の戦い***です。同時代のビザンツの歴史家ゲオルギオス・パキメレスは、皇帝アンドロニコス 2 世が送ったビザンツ軍がオスマンの兵に敗れたと記しています。

この勝利の後、オスマンの名は知られるようになり、ほかの地方から多くのトルコ系戦士が彼のもとに集まりました。ビテュニアの田園地帯は次第に彼に開かれ、ブルサ、ニカイア（イズニク）、ニコメディアなどのビザンツの町は孤立し始めました。

伝承の等級： 同時代のビザンツ史料で確かめられますが、兵力の数は不確かです。

参照：

ゲオルギオス・パキメレス『歴史』（同時代のビザンツ史料）；アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』。

教訓

時宜を得た一つの勝利が、民全体の立場を変えることがあります。しかし勝利はアッラーからのものであり、誇りではなく試練なのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

キリスト教徒の臣民への公正

歴史の注：キョセ・ミハルとビテュニアの人々

オスマンの最も親しい仲間の一人は、ハルマンカヤのビザンツの領主***キョセ・ミハル***でした。彼はオスマンの同盟者となり、伝承によればのちにイスラームに入りました。その子孫のミハルオウル家は、有名なオスマンの将軍たちを輩出しました。

オスマン年代記によれば、オスマンは手に入れた土地のキリスト教徒の住民を守り、彼らの市場が続くことを許し、彼らが不当に扱われないよう命じました。パキメレス自身も、ビテュニアの田園の多くの人々がトルコの支配を受け入れたと記しています。一部の歴史家はこの描写をあまりに美しすぎると考えています。辺境の戦いは略奪と苦しみももたらしたからです。

伝承の等級： オスマンの時代から約 150 年後に書かれた、アーシュクパシャザーデの歴史書やネシュリーの『世界の鏡』などの初期オスマン年代記に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史または伝承として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

ゲオルギオス・パキメレス『歴史』（同時代のビザンツ史料）；アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クルアーンは、憎む相手に対してさえ公正であるよう命じています。

食卓章 5:8

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ كُونُواْ قَوَّٰمِينَ لِلَّهِ شُهَدَآءَ بِٱلۡقِسۡطِۖ وَلَا يَجۡرِمَنَّكُمۡ شَنَـَٔانُ قَوۡمٍ عَلَىٰٓ أَلَّا تَعۡدِلُواْۚ ٱعۡدِلُواْ هُوَ أَقۡرَبُ لِلتَّقۡوَىٰۖ وَٱتَّقُواْ ٱللَّهَۚ إِنَّ ٱللَّهَ خَبِيرُۢ بِمَا تَعۡمَلُونَ ٨

あなたがた信仰する者よ，アッラーのために堅固に立つ者として，正義に基いた証人であれ。人びとを憎悪するあまり，あなたがたは（仲間にも敵にも）正義に反してはならない。正義を行いなさい。それは最も篤信に近いのである。アッラーを畏れなさい。アッラーはあなたがたの行うことを熟知なされる。

訳：三田了一 — quran.com/5:8

そしてアッラーの使徒 ﷺ は、保護された非ムスリムを殺すことを厳しく戒められました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3166 番

حَدَّثَنَا قَيْسُ بْنُ حَفْصٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَاحِدِ، حَدَّثَنَا الْحَسَنُ بْنُ عَمْرٍو، حَدَّثَنَا مُجَاهِدٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو ـ رضى الله عنهما ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " مَنْ قَتَلَ مُعَاهَدًا لَمْ يَرِحْ رَائِحَةَ الْجَنَّةِ، وَإِنَّ رِيحَهَا تُوجَدُ مِنْ مَسِيرَةِ أَرْبَعِينَ عَامًا ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・アムルの伝えるところでは、預言者 ﷺ はこう言われました。

「ムアーハド（ムスリムと協定を結んだ非ムスリム）を殺した者は、楽園の香りをかぐことはない。その香りは 40 年の道のりの距離からでも感じられるのに。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：カイス・ブン・ハフス ← アブドゥルワーヒド・ブン・ズィヤード ← ハサン・ブン・アムル ← ムジャーヒド・ブン・ジャブル ← アブドゥッラー・ブン・アムル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジズヤの書、第 3166 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3166

教訓

異なる宗教の臣民への公正は、国を受け入れられる永続的なものにします。イスラームは土地を得る前に心を得るのです。

国を築く

オスマンは戦っただけではありませんでした。オスマン年代記によれば、彼は人々を裁く裁判官を任命し、市場と軽い税を定め、戦士たちに土地を分け与え（のちに発展するティマール制）、手に入れた土地にモスクを建てました。彼は質素に暮らし、亡くなったときにはわずかな財産しか残さなかったと伝えられています。

これこそ、アッラーが地上で確固たる地位を与えられる指導者の特質です。

巡礼章 22:41

ٱلَّذِينَ إِن مَّكَّنَّٰهُمْ فِى ٱلْأَرْضِ أَقَامُوا۟ ٱلصَّلَوٰةَ وَءَاتَوُا۟ ٱلزَّكَوٰةَ وَأَمَرُوا۟ بِٱلْمَعْرُوفِ وَنَهَوْا۟ عَنِ ٱلْمُنكَرِ ۗ وَلِلَّهِ عَٰقِبَةُ ٱلْأُمُورِ ﴿٤١﴾

（かれに協力する者とは）もしわれの取り計いで地上に（支配権を）確立すると礼拝の務めを守り，定めの喜捨をなし，（人びとに）正義を命じ，邪悪を禁ずる者である。本当に凡ての事の結末は，アッラーに属する。

訳：三田了一 — quran.com/22:41

教訓

地上の権力は、礼拝を守り、喜捨を行い、善を勧め悪を禁じるための信託であって、贅沢のためのものではありません。

ブルサの包囲

歴史の注：何年も持ちこたえた町

ブルサ（プルサ）は、ウルダー山のふもとにある豊かで堅固なビザンツの町でした。オスマンにはその城壁を攻め落とす攻城兵器がなかったため、ヒジュラ暦 717 年（西暦 1317 年）ごろ、町への補給を断つためにその周囲に小さな砦を築きました。

包囲は何年も続きました。オスマンが年老いて病に倒れると、息子の***オルハン***が戦場で軍を率いました。

伝承の等級： オスマンの時代から約 150 年後に書かれた、アーシュクパシャザーデの歴史書やネシュリーの『世界の鏡』などの初期オスマン年代記に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史または伝承として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』。

教訓

忍耐は剣に劣らず大切な武器です。何年もたってようやく訪れる勝利もあるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

オルハンへの遺言

歴史の注：父の助言

オスマン年代記は、オスマンが亡くなる前にオルハンに残した遺言を伝えています。その内容には、民に公正であること、学者を敬うこと、アッラーが命じられていないことを行わないこと、問題に直面したら学者に助言を求めること、そして宗教を守ることが含まれています。

この遺言の文言はオスマンの時代のずっと後に記録されたもので、今日広まっている形はおそらく後代の書き手によって飾られています。それでもその内容は、指導についてのイスラームの教えと一致しています。

伝承の等級： 後代の伝えであり、その文言は確かではありません。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』。

すべての指導者は、自らが預かる者について問われます。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 7138 番

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، حَدَّثَنِي مَالِكٌ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ دِينَارٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " أَلاَ كُلُّكُمْ رَاعٍ، وَكُلُّكُمْ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، فَالإِمَامُ الَّذِي عَلَى النَّاسِ رَاعٍ وَهْوَ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، وَالرَّجُلُ رَاعٍ عَلَى أَهْلِ بَيْتِهِ وَهْوَ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ، وَالْمَرْأَةُ رَاعِيَةٌ عَلَى أَهْلِ بَيْتِ زَوْجِهَا وَوَلَدِهِ وَهِيَ مَسْئُولَةٌ عَنْهُمْ، وَعَبْدُ الرَّجُلِ رَاعٍ عَلَى مَالِ سَيِّدِهِ وَهْوَ مَسْئُولٌ عَنْهُ، أَلاَ فَكُلُّكُمْ رَاعٍ وَكُلُّكُمْ مَسْئُولٌ عَنْ رَعِيَّتِهِ ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルの伝えるところでは、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。***「よく聞きなさい。あなたがたは皆、羊飼いであり、皆その群れについて問われる。人々の上に立つ指導者は羊飼いであり、その民について問われる。*** 男は家族の羊飼いであり、彼らについて問われる。女は夫の家と子どもたちの羊飼いであり、彼らについて問われる。召使いは主人の財産の羊飼いであり、それについて問われる。よく聞きなさい。あなたがたは皆、羊飼いであり、皆その群れについて問われるのである。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスマーイール・ブン・アビー・ウワイス ← マーリク・ブン・アナス ← アブドゥッラー・ブン・ディーナール ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』裁定の書、第 7138 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:7138

教訓

指導者の最良の遺産は、財産や領土ではなく、後継者への良い助言です。

死とブルサの征服

歴史の注：ヒジュラ暦 724〜726 年ごろ

オスマンはヒジュラ暦 724 年（西暦 1323/1324 年）ごろに亡くなりました。正確な日付については史料が一致していません。ヒジュラ暦 726 年（西暦 1326 年）、ブルサは協定によってオルハンに降伏しました。一部の伝えは、オスマンが亡くなる前にブルサ征服の知らせを聞いたと述べています。

オスマンの遺体はのちにブルサに移され、ギュミュシュリュ・キュンベトとして知られる建物に葬られました。現在の墓廟は、地震の後、19 世紀に再建されたものです。ブルサはオスマン朝最初の都となりました。

伝承の等級： オスマンの時代から約 150 年後に書かれた、アーシュクパシャザーデの歴史書やネシュリーの『世界の鏡』などの初期オスマン年代記に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史または伝承として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』；ネシュリー『世界の鏡』。

教訓

努力の実りを見ずに去る奮闘者もいます。私たちの務めは種をまくことであり、実を摘む時はアッラーが定められるのです。

オスマンの遺産

ソユトの小さな町から、オスマンが築いた国はイスラームの歴史で最大の帝国の一つへと成長しました。彼の子孫はヒジュラ暦 857 年（西暦 1453 年）にコンスタンティノープルを征服し、三つの大陸にまたがって統治し、ヒジュラ暦 1342 年（西暦 1924 年）までカリフの称号を保ちました。

アッラーは、信仰して善行に励む者たちに地上での権威を約束されました。

御光章 24:55

وَعَدَ ٱللَّهُ ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ مِنكُمۡ وَعَمِلُواْ ٱلصَّٰلِحَٰتِ لَيَسۡتَخۡلِفَنَّهُمۡ فِي ٱلۡأَرۡضِ كَمَا ٱسۡتَخۡلَفَ ٱلَّذِينَ مِن قَبۡلِهِمۡ وَلَيُمَكِّنَنَّ لَهُمۡ دِينَهُمُ ٱلَّذِي ٱرۡتَضَىٰ لَهُمۡ وَلَيُبَدِّلَنَّهُم مِّنۢ بَعۡدِ خَوۡفِهِمۡ أَمۡنٗاۚ يَعۡبُدُونَنِي لَا يُشۡرِكُونَ بِي شَيۡـٔٗاۚ وَمَن كَفَرَ بَعۡدَ ذَٰلِكَ فَأُوْلَٰٓئِكَ هُمُ ٱلۡفَٰسِقُونَ ٥٥

アッラーは，あなたがたの中，信仰して善い行いに勤しむ者には，あなたがた以前の者に継がせたように，この大地を継がせることを約束なされた。そしてかれらのために，かれが選ばれる ものを，かれらの揺ぎのない宗教となされ，かれらの恐怖（不安の生活）を，安心無事（の境遇）に変えられる。かれらはわれに仕え，われに何ものをも配しない。だがそれ以後になお不信心になる者こそは，主の掟に背く者である。

訳：三田了一 — quran.com/24:55

遺産	その影響
オスマン朝	600 年以上続いた
ブルサ	最初の都；学問と交易の中心
臣民への公正	多くの宗教の民が一つの統治のもとで暮らした
「オスマン」の名	オスマンの名に由来する王朝と帝国の名
コンスタンティノープルへの道	子孫ムハンマド・アル＝ファーティフにより開かれた

オスマンの人柄

特質	物語からの例
忍耐強く先見の明がある	何年にもわたるブルサの包囲
学者を敬う	シャイフ・エデバリとの絆
臣民に公正	キリスト教徒の住民への扱い
質素	わずかな財産しか残さなかった
勇敢	バフェウスとビテュニアの城塞
普通の人間	デュンダル・ベイ殺害の話

教訓

権威についてのアッラーの約束は、信仰と善行に結びついています。その条件が失われれば、権威もまた失われます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

テレビドラマと歴史

典拠の注：『ディリリシュ：エルトゥールル』と『クルルシュ：オスマン』

*『ディリリシュ：エルトゥールル』*や*『クルルシュ：オスマン』*などのトルコのテレビドラマは、エルトゥールルとオスマンの物語を、マレーシアを含むイスラーム世界全体で有名にしました。これらのドラマは熱意と歴史への関心を呼び起こしうるものですが、創作作品です。

ドラマの多くの登場人物、出来事、台詞は作られたものです。たとえば、エルトゥールルとイブン・アラビーの関係、敵や裏切り者の大部分、いくつかの結婚や戦い、バフェウス以前のオスマンの生涯の細部などです。エルトゥールルについての歴史的な史料はわずか数行で、オスマンについてもそれほど多くはありません。ムスリムは娯楽と歴史を区別し、これらの人物に確かでないことを帰すべきではありません。

伝承の等級：テレビドラマは創作であり、歴史の史料として用いることはできません。

参照：

テレビドラマ、オスマン年代記、および現代の歴史研究の比較。

教訓

歴史を語るうえでの正直さは、知識の信託の一部です。ドラマからは熱意を、史料からは事実を受け取りましょう。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

検討すべき物語と数字

典拠の注：事実と伝説のあいだ

オスマンの物語には、慎重な検討を要する点がいくつかあります。***第一に***、オスマンの史料のほとんどは、国がすでに帝国となっていた、彼の時代から 150 年以上後に書かれたため、建国の物語はしばしば飾られています。***第二に***、彼をカユ族、オグズ、スレイマン・シャーに結びつける系譜は後代の伝承です。***第三に***、セルジュークのスルタン、アラーウッディーン・カイクバードがソユトをエルトゥールルに与えたという話は年代が合いません。このスルタンはヒジュラ暦 634 年に亡くなっているからです。

第四に、バグダード陥落と同じ年であるオスマンの生年（ヒジュラ暦 656 年）や建国の年（ヒジュラ暦 699 年）は、その象徴的な意味のために選ばれた可能性があります。***第五に***、オスマン朝の興隆において「ガーズィー」の精神が果たした役割と、政治的・経済的要因のどちらを重く見るかについて、現代の歴史家の意見は分かれています。確実なのは、オスマンの実在、バフェウスでの勝利（ヒジュラ暦 701 年）、ブルサの包囲、そしてオルハンによるその征服（ヒジュラ暦 726 年）です。

伝承の等級： 主な出来事は確かですが、多くの細部は伝承または伝説です。

参照：

アーシュクパシャザーデ、ネシュリー、パキメレス、および現代の歴史研究の比較。

教訓

オスマン朝の偉大さは、認められるために伝説を必要としません。確かな事実だけで十分な手本となるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

オスマンの物語の典拠

この表は、読者が真正なものと単に有名なだけのものを区別できるよう、それぞれの物語の典拠と等級をまとめたものです。

物語	典拠	等級
オスマンの父エルトゥールル	オスマン年代記；貨幣	歴史
カユ族とスレイマン・シャーの系譜	後代の年代記	伝承；議論あり
血筋は早めない	『サヒーフ・ムスリム』2699	真正
奮闘する者をアッラーは最もよくご存じ	『サヒーフ・ブハーリー』2787	真正
エデバリの家での夢	アーシュクパシャザーデ	伝説
良い夢はアッラーから	『サヒーフ・ブハーリー』6985	真正
ビレジクとニルフェル・ハトゥン	アーシュクパシャザーデ；ネシュリー	伝承
デュンダル・ベイの殺害	アーシュクパシャザーデ；ネシュリー	議論あり
ムスリムと戦うことは不信仰	『サヒーフ・ブハーリー』48	真正
バフェウスの戦い（ヒジュラ暦 701 年）	パキメレス	確か
キョセ・ミハル	アーシュクパシャザーデ	歴史
保護された非ムスリムを殺すこと	『サヒーフ・ブハーリー』3166	真正
ブルサの包囲	アーシュクパシャザーデ；ネシュリー	歴史
オルハンへの遺言	後代の年代記	文言は不確か
あなたがたは皆、牧者である	『サヒーフ・ブハーリー』7138	真正

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

物語	典拠	等級
ブルサの征服（ヒジュラ暦 726 年）	オスマン年代記；ビザンツの史料	確か
カイクバードによるソユトの授与	後代の年代記	年代が合わない
ドラマ『ディリリシュ』『クルルシュ』	テレビ	創作

人物・場所・年表

人物	役割
エルトゥールル	オスマンの父；ソユトの部族の長
シャイフ・エデバリ	ビレジクの学者；伝承ではオスマンの義父
マルフン・ハトゥン	オスマンの妻；一部の史料ではオルハンの母
デュンダル・ベイ	オスマンの叔父
キョセ・ミハル	ビザンツの領主；オスマンの同盟者
オルハン	オスマンの息子で後継者；ブルサの征服者
アンドロニコス 2 世	オスマンの時代のビザンツ皇帝
ゲオルギオス・パキメレス	同時代のビザンツの歴史家

場所	出来事
ソユト	エルトゥールルとオスマンの部族の中心
ビレジク	シャイフ・エデバリの住まい；オスマンが取った
カラジャヒサルとイネギョル	初期に取った城塞
バフェウス（コユンヒサル）	ビザンツに対する勝利（ヒジュラ暦 701 年）
ブルサ	包囲され、オルハンが取った（ヒジュラ暦 726 年）
ブルサのギュミュシュリュ・キュンベト	オスマンの墓

年	出来事
ヒジュラ暦 641 年	モンゴルがキョセ・ダーでセルジュークを破る
ヒジュラ暦 656 年ごろ	伝承によるオスマンの誕生

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

年	出来事
ヒジュラ暦 680 年ごろ	エルトゥールル死去
ヒジュラ暦 699 年	伝承上の建国の年
ヒジュラ暦 701 年	バフェウスの戦い
ヒジュラ暦 717 年ごろ	ブルサの包囲が始まる
ヒジュラ暦 724 年ごろ	オスマン死去
ヒジュラ暦 726 年	オルハンがブルサを取る
ヒジュラ暦 857 年	ムハンマド・アル＝ファーティフがコンスタンティノープルを征服

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

オスマン・ガーズィーについてのよくある質問

この章では、オスマン・ガーズィーについてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔で、詳細はそれまでの章にあります。

1. オスマン・ガーズィーとは誰ですか？

エルトゥールルの子で、ヒジュラ暦 724 年ごろまでアナトリア北西部を治めたオスマン朝の創始者です。

2. 「オスマン朝」の名はどこから来たのですか？

ウスマーンのトルコ語読みであるオスマンの名から来ています。

3. エルトゥールルとは誰ですか？

オスマンの父で、ソユトの小さな部族の長です。その生涯の細部の多くは後代の伝承です。

4. ドラマ『ディリリシュ：エルトゥールル』は本当ですか？

いいえ。わずか数行の歴史から着想を得た創作ドラマです。

5. オスマンの夢とは何ですか？

シャイフ・エデバリの家での月と大きな木についての伝説で、1 世紀以上後に記録されました。

6. シャイフ・エデバリとは誰ですか？

オスマンが敬ったビレジクの学者で、伝承では彼の義父です。

7. 年代の確かなオスマンの最初の勝利は何ですか？

ヒジュラ暦 701 年（西暦 1302 年）のバフェウスの戦いです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8. キリスト教徒をどのように扱いましたか？

史料によれば彼らを守り、一部のビザンツ貴族は彼の同盟者となりました。

9. 彼は過ちを犯しましたか？

年代記は彼が叔父デュンダルを殺したと伝えていますが、この話は議論されています。

10. ブルサはいつ征服されましたか？

ヒジュラ暦 726 年（西暦 1326 年）、息子オルハンによってです。

11. 彼の墓はどこにありますか？

ブルサの、ギュミュシュリュ・キュンベトとして知られる場所にあります。

12. 彼の物語の最大の教訓は何ですか？

信仰と忍耐と公正は、小さな始まりを大きな遺産に変えうるということです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

オスマンの物語は、辺境の小さな部族の長が、忍耐と勇気と公正によって、6 世紀続く帝国の礎を築いた物語です——その物語がしばしば伝説やドラマに包まれているとしても。

教訓	オスマンの物語から
血筋ではなく行い	議論のある系譜；『サヒーフ・ムスリム』2699
奮闘における意図	ガーズィーの称号；『サヒーフ・ブハーリー』2787
夢は証拠ではない	エデバリの家での夢；『サヒーフ・ブハーリー』6985
ムスリムの血は尊い	デュンダル・ベイの話；『サヒーフ・ブハーリー』48
すべての人への公正	キリスト教徒の臣民；食卓章 5:8；『サヒーフ・ブハーリー』3166
信託としての権力	国を築く；巡礼章 22:41；『サヒーフ・ブハーリー』7138
アッラーの約束には条件がある	オスマン朝の遺産；御光章 24:55
歴史とドラマを区別する	『ディリリシュ』『クルルシュ』と後代の年代記

オスマンの忍耐と公正にならい、学者を敬い、たとえ小さくとも善い行いを、アッラーがそれを大きく育ててくださると信じて始めましょう。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、コンスタンティノープルの征服者スルタン・ムハンマド・アル＝ファーティフの物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン版の正書法と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（食卓章 5:8；巡礼章 22:41；御光章 24:55）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』48、2787、3166、6985、7138。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』2699。sunnah.com/muslim:2699a

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

歴史書と研究

アーシュクパシャザーデ『オスマン家の歴史』。

ネシュリー『世界の鏡』。

ゲオルギオス・パキメレス『歴史』。

イブン・バットゥータ『大旅行記』。

ハリル・イナルジク『オスマン帝国――古典期（1300〜1600 年）』。

ジェマル・カファダル『二つの世界のあいだで――オスマン国家の形成』。

トルコ宗務庁財団『イスラーム百科事典』「Osman I」。islamansiklopedisi.org.tr/osman-i

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 24 巻：ベルケ・ハンまで。quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません。**研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيد - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience